

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
高岸憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川秀樹

編集同人

生田義和 澤村誠志
井樋栄二 田辺剛造
岩田 久 田畑四郎
岩本幸英 玉置哲也
大井利夫 中村耕三
小野村敏信 馬場久敏
加藤博之 浜西千秋
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
楠田喜三郎 持田讓治
酒 匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

皆さん、鬱陶しい梅雨をいかがお過ごしでしょうか。今年の梅雨は、九州地方南部の雨が多いようですが、他の地域ではまだそれほどではないようです。私の住む北陸地方は、例年全国でも最後のほうに梅雨が明けます。7月中旬から下旬の大雨に注意しています。本号が発売される頃は、活力みなぎる夏本番が到来していることでしょうか。私個人としては、夏はいつも open-mind になって大変いい時期で、名案も閃きやすいように思います。

加齢黄斑変性症に対する iPS 細胞の臨床試験が、いよいよ認可されることになりました。まずは安全性試験ということですが、多くの方の期待を背負っている状況は大変だと思います。臨床における安全性と有効性を確認していくために、超えないといけないハードルは多々あると思いますが、正しい道筋を辿っていくことを切に願う次第です。いずれは整形外科領域でもと、だれでも考えますが、まずは治療法のない難病や生命の危機に関わる疾患が治療対象となっていくでしょう。骨や軟骨、筋肉の再生はかなり後になる予感がします。厚生労働省をはじめとする政府関連機関へのお願いは、iPS 細胞一辺倒ではなく、日本には他にも控えている素晴らしい研究が多々ありますので、それらへの支援も忘れないで行ってほしいと思います。医学研究は、multidirectional です。

7月21日に、参議院選挙が行われます。ねじれ国会が解消されるかどうかの瀬戸際です。昨年12月に第二次安倍内閣が誕生し、アベノミクスと称して日本経済の復活が最優先事項に掲げられました。最近、日本は少し元気を取り戻してきたように感じているのは私だけではないように思います。日本、日本人の誇りを取り戻す、という言葉には大変好感が持てます。今後の日本を見守って行きたいと思います。

さて、整形外科へ目を転じますと、多くの整形外科医の努力により、日進月歩そして確実に、整形外科は進歩を遂げております。最近では、診断や治療において、その妥当性および正当性の判断として、科学的証拠が求められるようになっていきます。本号で弘前大学の石橋恭之教授が書かれた「視座」とも関連しますが、いよいよ日本専門医制評価・認定機構を主体とした専門医制度の導入が近づいて来ましたが、今後は、若い先生たちが、新たな専門医制度に挑戦していくわけですが、はじめに専門医有りきでは、整形外科の発展を阻むことにもなりかねません。若い先生たちには、是非、整形外科の研究に携わっていただき、整形外科をさらに発展させてほしいと思います。

本誌は、基礎医学から臨床医学、そして歴史や最新の医学まで幅広い領域をカバーしています。本号も、有益な情報が満載です。多くの先生たちに、整形外科の醍醐味を味わっていただき、若き整形外科医たちには、research-mind を養ってほしいと願っています。(土屋弘行)

臨床整形外科 (第48巻第8号)

2013年8月25日発行(毎月1回25日発行)

定価2,625円(本体2,500円+税5%)

2013年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400円

冊子+電子版/個人 34,400円

冊子+電子版/共有 38,900円

電子版/個人 29,400円

電子版/共有 33,900円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2013, Printed in Japan.

- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。